

平成 28 年 6 月吉日

関係各位

一般社団法人 日本技術者連盟
会長 星野 克美



「Turkmenistan and Japan Joint Forum on Advanced Technologies」 開催のご案内

拝啓 時下益々ご清栄の段大慶に存じます。平素はご支援賜わり厚く御礼申し上げます。

2015年10月安倍首相のトルクメニスタン訪問時に発表された共同声明では、「両国はエネルギー及び資源の利用を効率化し、もってトルクメニスタンの今後の発展に資するものとして、ゼルゲルにおける高効率ガスタービンの発電所建設への日本企業の参加及びトルクメニスタンにおける天然ガスの効率的な利用のためのマスタープランの策定を歓迎した。」としています。

また、中央アジア地区における高速鉄道建設の可能性にも言及し日本の技術およびテクノロジーの活用のための専門家による調査団の派遣を歓迎するとしています。

上記の二国間ビジネスにおける政府間の合意が形成された今日の状況下、トルクメニスタン側のニーズを確認し、日本側が提供できる経験、技術、テクノロジーを提供するため、本技術フォーラムの開催は両国の技術交流を活発化し、両国の経済発展に貢献できるものと確信致します。

この様な状況を踏まえ、在日トルクメニスタン大使館を始め現地政府機関の要請もあり、来る9月7日(水)トルクメニスタンにおいて、「Turkmenistan and Japan Joint Forum on Advanced Technologies」と題し、トルクメニスタン/日本ガスタービン発電と工業利用技術フォーラムとトルクメニスタン/日本合同技術フォーラム“最新の鉄道技術と環境配慮”を同時開催することになりました。

つきましては、電力事業・鉄道事業・海外事業関連の企業様に、本技術フォーラムにおいて貴社製品・技術のご発表又はオブザーバーとしてご参加賜りますようお願い申し上げます。

また、現地や海外駐在員の方のご参加なども可能でございますので、詳細につきましては事務局までお問い合わせください。

ご参加頂ける場合は別紙申込書に必要事項をご記入の上、2016年7月25日(月)までに一般社団法人日本技術者連盟あてFAX(03-6229-1940)又はE-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)にてお申込み下さい。

敬具



一般社団法人日本技術者連盟
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
Tel: + 81-3-6229-1946 Fax: + 81-3-6229-1940 E-mail: jdota@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp> URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

Turkmenistan and Japan Joint Forum on Advanced Technologies

【Part1】

Turkmenistan and Japan Joint Forum on
Gas Turbine Power Generation and Industrial Applications
『トルクメニスタン/日本ガスタービン発電と工業利用技術フォーラム』

【Part2】

Turkmenistan and Japan Joint Forum on
Recent Railway Technologies and Environmental Solutions
『トルクメニスタン/日本合同技術フォーラム“最新の鉄道技術と環境配慮”』

日本側主催： 一般社団法人日本技術者連盟 (JEF)
現地側主催： Ministry of Energy of Turkmenistan
Ministry of Railway Transport of Turkmenistan

現地側後援： 在日トルクメニスタン大使館
トルクメニスタン商工会議所
日本側後援： 一般社団法人火力原子力発電技術協会 (TENPES)

開催日時： 2016年9月7日(水) 13:00~18:00
会場： トルクメニスタン商工会議所 (アシガバート市内)



一般社団法人日本技術者連盟
〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F
Tel: + 81-3-6229-1946 Fax: + 81-3-6229-1940 E-mail: jdota@jef-site.or.jp
URL: <http://www.jef-site.or.jp> URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

Turkmenistan and Japan Joint Forum on Advanced Technologies

【Part1】

Turkmenistan and Japan Joint Forum on Gas Turbine Power Generation and Industrial Applications

1. テーマ: 『トルクメニスタン/日本ガスタービン発電と工業利用技術フォーラム』
**Turkmenistan and Japan Joint Forum on
Gas Turbine Power Generation and Industrial Applications**
2. 日本側主催: 一般社団法人日本技術者連盟(JEF)
現地側主催: Ministry of Energy of Turkmenistan
3. 現地側後援: 在日トルクメニスタン大使館
トルクメニスタン商工会議所
日本側後援: 一般社団法人火力原子力発電技術協会(TENPES)
4. 開催案内: 2016年9月7日(水) 13:00~18:00
会場: トルクメニスタン商工会議所 (アシガバート市内)
現場視察: 2016年9月8日(木) 関連省庁 及び 現場視察

5. 趣旨:

豊富な天然ガス(埋蔵量世界第4位)を埋蔵・生産する資源国トルクメニスタンは、国際機関との平等互恵な協力関係を強化し、積極的に国際外交の分野で活躍し、重要な地位を占めています。

トルクメニスタンの外交政策の主な方向性の1つは、世界の国々との、多角的かつ互恵的な友好関係を構築することにあります。2013年5月に日本においてトルクメニスタン大使館が設立されたことは、両国民の平等互恵な関係の強化、相互理解と友好関係を一層発展させることにつながりました。

貿易・投資の一層の拡大、天然ガス、化学工業、エネルギー、運輸、情報・通信、観光などの諸分野における技術導入および、日本企業のインフラ・プラント輸出支援の観点から、トルクメニスタンにおける発電設備の近代化計画に関連し、日本企業の発電およびガスタービン利用技術の優位性を紹介するとともに、同国における同分野での日本企業の活動の活発化が両国経済関係を更に発展させることに貢献するものと確信いたします。

高効率・高品質で環境に優しいガスタービンのコンバインドサイクル化による発電への導入や、高効率で機動性に優れている中小型ガスタービンやガスエンジンの分散型発電や熱電併給施設など工業用への導入について、わが国としても経済成長戦略に基づく日本企業の海外展開支援並びに日本の高度な技術の活用による導入国の経済発展に寄与する事業は意義深いものです。

なお、2015年10月安倍首相のトルクメニスタン訪問時に発表された共同声明では、「両国は、エネルギー及び資源の利用を効率化し、もってトルクメニスタンの今後の発展に資するものとして、ゼルゲルにおける高効率ガスタービンの発電所建設への日本企業の参加及びトルクメニスタンにおける天然ガスの効率的な利用のためのマスタープランの策定を歓迎した。」としています。

この様な状況を踏まえ、トルクメニスタンにおいて、トルクメニスタン/日本ガスタービン発電と工業利用技術フォーラムを開催致します。

6. 開催目的:

一般社団法人日本技術者連盟(JEF)が主催し、現地政府機関の協賛を得て開催される技術フォーラムは、いわゆる“インフラ商談誘導型フォーラム”です。その目的は、“インフラ受注”なのではないかと考えてしまう企業の皆様もおられますがこれは間違いです。

技術フォーラム開催の目的はあくまでも“インフラ商談の機会を提供すること”にあります。技術フォーラム会場では、“この企業に相談してみたい”、“一度話を個別に聞いてみたい”などと感じてもらえる様、ワクワクさせる事が大切です。

そのために主催者であるJEFは、昼食会、午前・午後のコーヒープレイクさらに技術フォーラムのアジェンダの最後の時間に設定される“Round Table Meeting”のアレンジを大変重要視致しております。

7. チェアマン: 森 和義 氏 一般社団法人日本技術者連盟 理事

有限会社森テクノマネジメント代表取締役技術士、第1種電気主任技術者



■略歴

1965年	早稲田大学 理工学部電気工学科卒業
1965年	株式会社神戸製鋼所 東パキスタンチッタゴン製鉄所建設事務所
1973年	同社カタール製作所建設部 課長
1988年	同社新分野事業部 情報通信システム部長
1990年	同社機械エンジニアリング事業本部 計装技術部長
1996年	神鋼電機株式会社 技術本部副本部長 技術部長
2000年	有限会社森テクノマネジメント 代表取締役
2009年	米国 Anaheim 大学 MBA(Sustainability Management)卒業

8. 発表テーマ:

日本側及びトルクメニスタン側発表テーマ(案):

- ①Needs and Prospect of Turkmenistan Power Industries (from Turkmenistan side)
- ②Recent Development of Gas Turbine Power Generation Technologies
- ③Potential Contribution to Power Sector in Turkmenistan
- ④Gas Turbine and Energy Use Efficiently & Environment Friendly Industrial Application
- ⑤Human Resource Training for Power Generation
- ⑥Others

9. 現地側参加者:

100~150名 (Ministry of Energy of Turkmenistan 関係者及び政府機関、団体関係者、学識経験者、企業、大使館、JETRO、JICA 他)

10. 発表言語:

英語

【Part2】

Turkmenistan and Japan Joint Forum on Recent Railway Technologies and Environmental Solutions

1. テーマ:『トルクメニスタン/日本合同技術フォーラム“最新の鉄道技術と環境配慮”』

Turkmenistan and Japan Joint Forum on Recent Railway Technologies and Environmental Solutions

2. 日本側主催: 一般社団法人日本技術者連盟(JEF)
現地側主催: Ministry of Railway Transport of Turkmenistan
3. 現地側後援: 在日トルクメニスタン大使館
トルクメニスタン商工会議所
4. 開催案内: 2016年9月7日(水) 13:00~18:00
会場: トルクメニスタン商工会議所(アシガバート市内)
現場視察: 2016年9月8日(木) 関連省庁 及び 現場視察

5. 趣旨:

長距離の鉄道輸送網を有するトルクメニスタンは、鉄道先進国としての日本の鉄道建設や運営における技術の経験や知見が、トルクメニスタンの鉄道輸送の効率化、都市問題の解決に役立つという期待を持っています。

このことは、2015年10月、日本の安倍首相が、トルクメニスタンを訪問した際の「パートナーシップの深化に関する共同声明」として確認されました。なお、同共同声明には、中央アジア地区における高速鉄道建設の可能性にも言及し、日本の技術およびテクノロジーの活用のための専門家による調査団の派遣を歓迎するとしています。

上記の二国間ビジネスにおける政府間の合意が形成された今日の状況下、トルクメニスタン側のニーズを確認し、日本側が提供できる経験、技術、テクノロジーを提供するため、本技術フォーラムの開催は両国の技術交流を活発化し、両国の経済発展に貢献できるものとして企画いたしました。

このような状況を踏まえ、トルクメニスタンにおいて、トルクメニスタン/日本合同技術フォーラム“最新の鉄道技術と環境配慮”を開催致します。

6. 開催目的:

一般社団法人日本技術者連盟(JEF)が主催し、現地政府機関の協賛を得て開催される技術フォーラムは、いわゆる“インフラ商談誘導型フォーラム”です。その目的は、“インフラ受注”なのではないかと考えてしまう企業の皆様もおられますがこれは間違いです。

技術フォーラム開催の目的はあくまでも“インフラ商談の機会を提供すること”にあります。技術フォーラム会場では、“この企業に相談してみたい”、“一度話を個別に聞いてみたい”などと感じてもらえる様、ワクワクさせる事が大切です。

そのために主催者であるJEFは、昼食会、午前・午後のコーヒープレイクさらに技術フォーラムのアジェンダの最後の時間に設定される“Round Table Meeting”のアレンジを大変重要視致しております。

7. チェアマン:調整中

8. 発表テーマ:

日本側発表テーマ(案):

①日本の鉄道の歴史と今後の展望

- ・社会経済的背景と鉄道の役割
- ・時間厳守及び安全性
- ・リスク管理(地震対策、豪雨・積雪、風、地滑り、避難計画)
- ・大量輸送時代(都市鉄道及び貨物鉄道)
- ・環境対応(CO2削減)・民営化

②鉄道システムとそのコンポーネント

- ・軌道、駅舎、車両、機電、信号・通信、デポ、安全施設、運行システム

③日本の鉄道の特色と世界の鉄道との比較

- ・日本の優位技術
- ・鉄道技術基準

④海外鉄道分野における日本の支援・協力

- ・ODA 案件における FS、設計、工事及び工事監理
- ・技術協力と資金援助

⑤日本の高速鉄道の概要

- ・経緯
- ・代替輸送手段との比較と優位性
- ・要員・人材の育成
- ・社会経済上の効果
- ・資金調達
- ・運転、維持管理上の課題、安全対策

⑥モノレール技術と将来性

現地側発表テーマ: 未定

9. 現地側参加者:

100~150名(Ministry of Railway Transport of Turkmenistan 関係者及び政府機関、団体関係者、学識経験者、企業、大使館、JETRO、JICA 他)

10. 発表言語:

英語

<以下、共通事項>

1. 募集人数: Part1・Part2 とともに各10名(スピーカー・オブザーバーを含む)
2. 参加費: 共通経費・・・ ¥560,000

原則として現地集合・現地解散となります。

共通経費(現地諸機関の折衝及び手配料)	※課税対象外
①フォーラム開催諸費用(会場費、現地招待者を含む諸費用)	
②現地事前打ち合わせの出張費用	
③団長・通訳諸費用	
④ホテル宿泊費用(9/6(火)～9/8(木) 2泊3日)	
企画運営費	※課税対象

ビザの取得・フライト等の旅行上の手配をご希望される方は事務局までお問い合わせ下さい。

3. 技術論文について:
- ①参加者のテキストの使用言語及び発表言語は英語とします。
 - ②発表時間は30分前後とします。
 - ③発表する技術論文のアブストラクトを A4 サイズ 1 ページにまとめて頂き、2016年8月5日(金)までに JEF 事務局宛 PDF ファイルでお送り下さい。
 - ④フォーラムで使用するスライドは各自ご持参して頂くと共に、事前に JEF 事務局まで PDF ファイルでお送り下さい。(OHP・スクリーン等を準備します)
 - ⑤質疑応答は日本語・英語(またはトルクメン語)逐次通訳となります。

4. 通訳者: ベテラン適任者
5. 旅行主催: 万達旅運株式会社(ワンダートラベル)
6. ホテル: シングルルーム(9/6(火)～9/8(木) 2泊3日)
7. 総合事務局: 株式会社アジア技術移転機構
8. 申込方法: 添付の申込書に必要事項をご記入の上、**2016年7月25日(月)までに FAX(03-6229-1940)又は E-mail(gyomu1@jef-site.or.jp)**でお申込み下さい。
お申込み後にキャンセルされた場合は所定のキャンセルチャージをご請求申し上げますので予めご了承下さいませようお願い申し上げます。

※期限について: 現地側政府機関のご招待者に対して日本側発表者・オブザーバーを事前にご案内する関係で
申込期限は厳守でお願い致します。貴社の稟議等で遅れる場合は事務局までご連絡お願い申し上げます。

9. 支払方法: 株式会社アジア技術移転機構よりご請求書を送付申し上げます。
10. ビザ: 参加者のパスポートや顔写真(カラー写真、縦 4cm、横 3cm、メガネ外す)等が必要になります。詳細は事務局までお問い合わせください。



一般社団法人日本技術者連盟

〒107-0052 東京都港区赤坂 2-2-19 アドレスビル 5F

Tel: + 81-3-6229-1946

Fax: + 81-3-6229-1940

E-mail: idot@jef-site.or.jp

URL: <http://www.jef-site.or.jp>

URL: <http://www.jef-site.or.jp/npgef/index.html>

＜原則として現地集合・現地解散となりますが、
こちらは当連盟がフライトやホテル等の旅行上の手配をした場合の日程案です＞

Turkmenistan and Japan Joint Forum on Advanced Technologies

日程案 2016年9月5日(月) ～ 9月9日(金) 5日間

※訪問先・発着時間・交通手段等は都合により変更の場合もございます。
予めご了承下さい。

※航空機はエコノミークラスを利用します。

日次	月・日・曜	都市名	交通機関	現地時間	スケジュール
1	9/5 (月)			22:30	羽田空港国際線出発ロビー集合
2	9/6 (火)	羽田発	EK-313	0:30	エミレーツ航空にて出発 (日本との時差5時間/フライトタイム11時間50分)
		ドバイ着		6:15	
		ドバイ発	FZ-731	12:55	フライドバイ航空にてアシガバードへ (ドバイとの時差1時間/フライトタイム2時間30分)
		アシガバード着		16:35	
			専用車		ホテルへ アシガバード泊
3	9/7 (水)	アシガバード滞在	専用車	13:00 ～ 18:00	「Turkmenistan and Japan Joint Forum on Advanced Technologies」開催 オープニングセレモニーの後、会場を分けて同時開催 Part1『トルクメニスタン/日本ガスタービン 発電と工業利用技術フォーラム』 Part2『トルクメニスタン/日本合同技術フォーラム “最新の鉄道技術と環境配慮”』 アシガバード泊
4	9/8 (木)	アシガバード滞在	専用車	終日	関連省庁訪問 及び 現場視察 フライドバイ航空にてドバイへ
		アシガバード発	FZ-732	17:35	
		ドバイ着			19:05
5	9/9 (金)	ドバイ発 成田着	EK-318	2:50 17:35	エミレーツ航空にて帰国の途へ (日本との時差5時間/フライトタイム9時間25分)

フォーラム会場(アシガバート)

開催日	会場名	住所・TEL
9/7(火)	Chamber of Commerce and Industry of Turkmenistan	17, Batyr Karyeva st. Ashgabat, 744000, Turkmenistan TEL:+993 (0)12/355381

宿泊先ホテル(アシガバート)

宿泊期間	ホテル名	住所・TEL
9/6(火)～9/8(木) 2泊3日	-	-

Turkmenistan and Japan Joint Forum on Advanced Technologies 参加申込書

一般社団法人 日本技術者連盟 (JEF) 行 FAX 03-6229-1940

※該当欄にチェックして下さい

Part1: Turkmenistan and Japan Joint Forum on Gas Turbine Power Generation and Industrial Applications

Part2: Turkmenistan and Japan Joint Forum on Recent Railway Technologies and Environmental Solutions

技術論文を発表する 発表テーマ()

技術論文は発表しないがオブザーバーとしてフォーラムに参加する

フリガナ					メンバーリスト作成のため 顔写真をご提出ください ●4cm×3cm ●脱帽・正面・背景無地 ●写真2枚(カラー写真、 4cm、横3cm、同一ネガ、 眼鏡外す)が必要となります。		
会社名・団体名							
英文名							
所属名/役職名							
フリガナ		生年月日	西暦	年	月	日	
参加者氏名	印						
パスポート記載名 (ローマ字)		学位					
E-mail			携帯電話番号				
勤務先	ご住所	〒	-				
電話番号			FAX番号				
自宅	ご住所	〒	-				
電話番号							
フリガナ							
担当責任者名	印						
所属名/役職名							
電話番号/E-mail							
パスポートについて: 今回のフォーラムに必要なパスポートをお持ちですか? (日本帰国日までの残存日数が必要)							
はい	旅券番号:			有効期限: 西暦	年	月	日
パスポートの顔写真付きページのスキャンカラーコピーをメールで送信して下さい。				<input type="checkbox"/> はい			<input type="checkbox"/> 後ほど送ります
喫煙の習慣	有 ・ 無		マイルージをお持ちの方は番号を記載して下さい	(JAL / ANA)			
通信欄 (ご質問・ご希望等 お書き下さい)							

個人情報保護方針
 参加申込書にご記入いただく、氏名、年齢、生年月日、電話番号、メールアドレス、住所、勤務先等の情報は「個人情報」に該当しますので、企画主催・企画実施・取扱旅行社・総合事務局は以下に掲げる個人情報の取扱いに関する基本方針及び個人情報に関して適用される法令を遵守して、お客様に関する個人情報の適正な管理・利用と保護に万全を尽くします。

1. 個人情報保護利用の目的
 お客様がお申し込みになられた運送、宿泊その他の旅行に関するサービス(以下「旅行サービス」といいます)を手配するために必要な範囲で情報を利用いたします。また、旅行サービス提供機関に対し、お客様の氏名、パスポート番号及び現地滞在先等をあらかじめ電子的方法等で送付することによって提供します。

2. 個人情報の開示・提供
 下記の場合を除き、お客様からお預かりした個人情報を第三者に開示・提供いたしません。
 ア. ご本人の同意がある場合
 イ. 旅行サービス提供機関や販売店の手配業務委託先に、旅行サービス手配に必要な最小限度の情報を開示・提供する場合。
 ウ. 法的な命令等により個人情報の開示・提供が求められた場合。

3. 個人情報に関するご質問、又はご意見は、総合事務局にてお受けいたします。